

中央区立郷土天文館「タイムドーム明石」
平成30年度企画展「お酒と遺跡～中央区の出土遺物から～」

【特別展趣旨】

今回の企画展では、区内の遺跡から出土した「お酒」に関する遺物を展示します。主に江戸時代の徳利、^{さか}盃、木製の酒樽の他、武家地や町人地、牢屋敷など、各遺跡から出土したものを中心に紹介します。^{さか}盃や徳利は、江戸時代の遺跡を発掘すると、必ずといっていいほど出土します。それほど江戸時代の人々とお酒は切っても切り離せないものだったのでしょう。こうした遺物が頻繁に廃棄された原因には、宴会や儀礼で使い捨てられたり、日常生活で壊れたものなど、さまざまなことが考えられます。江戸時代の人々が実際に使った遺物を通じて、お酒をめぐる当時の文化を紹介します。

【期間等のご案内】

- ◎期 間 平成31年2月9日（土）～3月24日（日）
- ◎時 間 ・火～金曜日 午前10時～午後7時
・土・日曜日、祝日 午後10時～午後5時
※閉館30分前には要入場
- ◎会 場 中央区立郷土天文館（タイムドーム明石）特別展示室
- ◎入場料 無料
- ◎休館日 毎週月曜日（祝日の場合は開館、翌日休館）

【展示構成】

- 1 衣（洋服）
- 2 食（食器、酒瓶、牛乳瓶、生ごみ、その他）
- 3 住（下水、便所、建材、暖房具、あかり）
- 4 その他（おもちゃ、文具、習俗）

【交通機関等】

- ◎最寄り駅
地下鉄有楽町線 新富町駅（4番・6番出口）徒歩10分
地下鉄日比谷線 築地駅（3番・4番出口）徒歩7分

【問い合わせ先】

中央区立郷土天文館「タイムドーム明石」
中央区明石町12-1 中央区保健所等複合施設6F
電 話：03-3546-5537